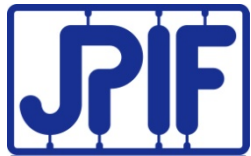


「プラスチック」のイメージ調査(第5回)
プラスチックの全体イメージに影響を及ぼす要因を探る

2021年3月2日
日本プラスチック工業連盟



本資料は日本プラスチック工業連盟が、高橋教授(明治大学)の分析結果を広報用にまとめたものである

■ 継続質問

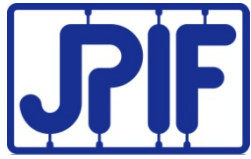
- 【問1】「プラスチック」の全体的な印象に関して自由な回答を得ること
- 【問2】「プラスチック」の各個別質問に対して印象を明らかにすること
- 【問3】「他材料」と比較して「プラスチック」の全体的な印象を明らかにすること
- 【問4】「プラスチック」の特徴、利用に関してその認知度を明らかにすること
- 【問5】「プラスチック」の資源循環、海洋プラスチック問題に関して意見、回答を得ること

■ 新規質問

- 【問6】焼却によるエネルギーリカバリーの賛否について、またその理由を明らかにすること
- 【問7】「プラスチック」に利用される原油は、国内で使用される原油総量のどのくらいに相当するか、その定量的なイメージを明らかにすること
- 【問8】リサイクルされたプラスチックの価格・品質と購買意識との関係性を明らかにすること
- 【問9】購買における値ごろ感(受け入れ可能価格)の回答を得ること。
バイオプラスチック(バイオマスプラスチック、生分解性プラスチック)

プラスチックの好感度を向上させることが課題

- (1) 【問3】に関連する「プラスチック」の全体的な印象を改善することを課題とし、他の問との関係性を詳細検討することで、関係性の高い事象の抽出を実施
- (2) 【問2】(独立変数)と【問3】(従属変数)に特徴的な関係性が見出された
※詳細は6~11ページで説明
- (3) 【問2】の「プラスチック」に対する印象を、広報・啓発により改善することで、結果として【問3】の「プラスチック」の全体的な印象を向上できると考えられる

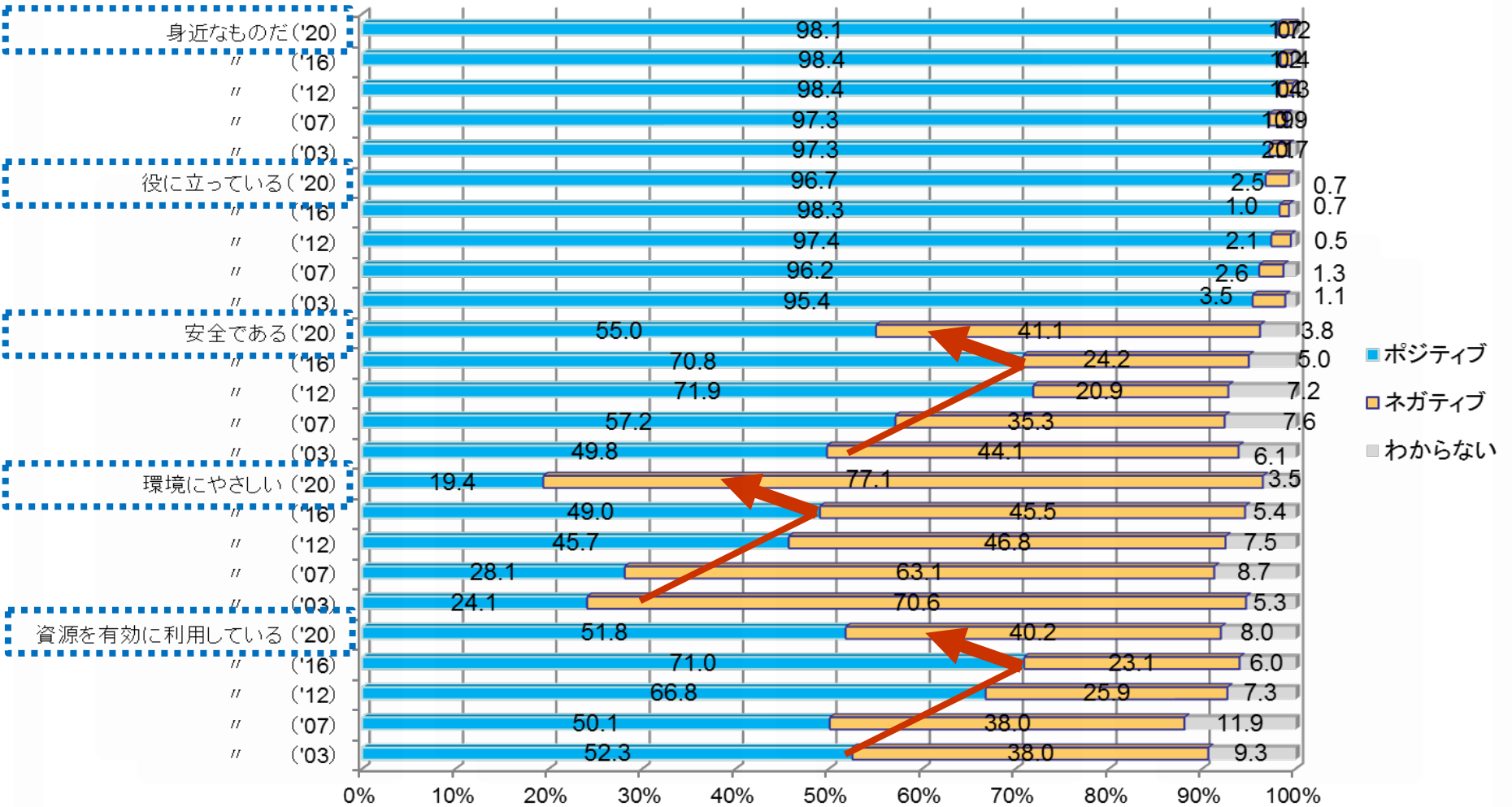


【問2】プラスチックに対する印象

Q2 あなたは、「プラスチック」に対して、どのような印象をお持ちですか。ここ(回答票)にあげた(1)~(3)までの、ことからのそれぞれについて、(ア)「全くそう思う」~(カ)「全くそう思わない」でお答えください。

【独立変数】

アンケート結果

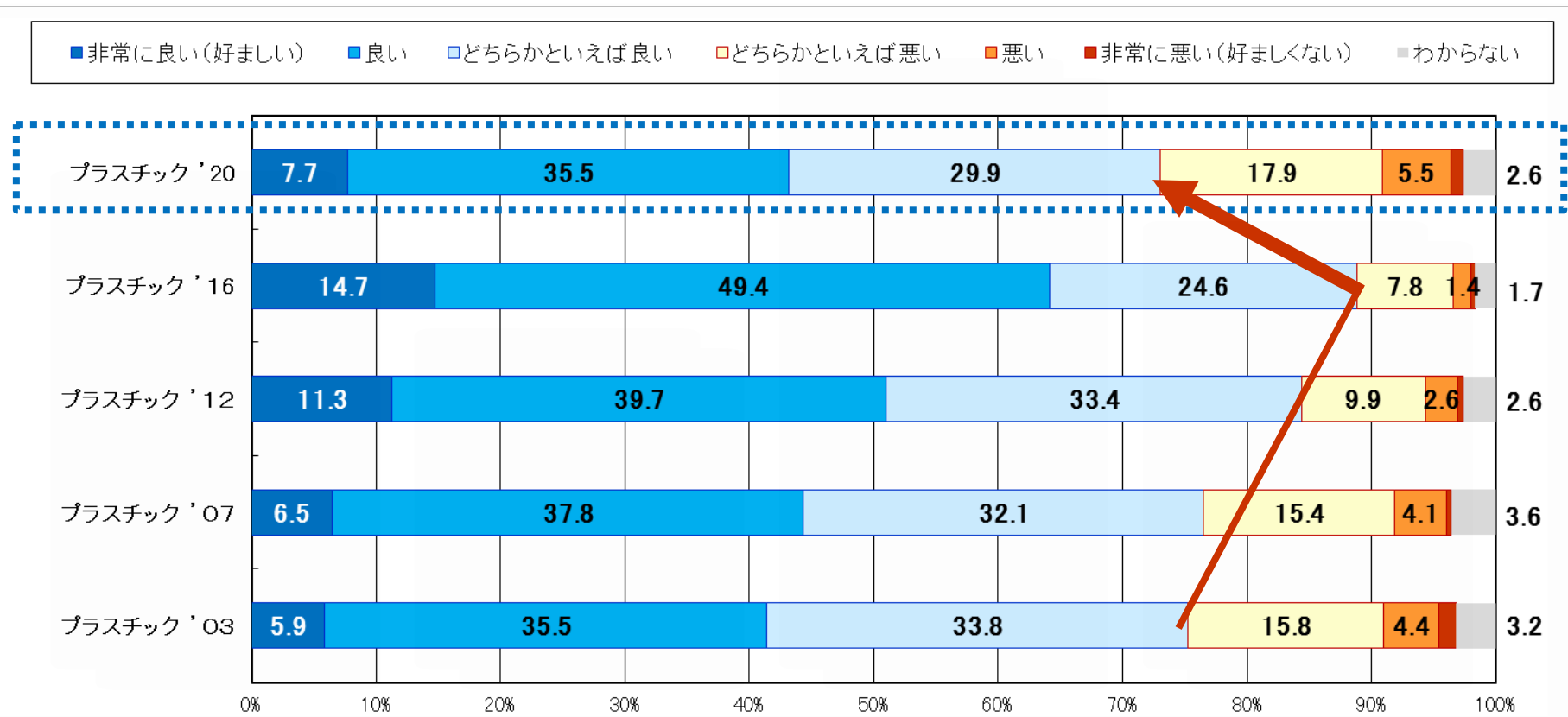


【問3】プラスチックの好感度

Q3 日常生活で使われているさまざまな材料についておききます。ここ(回答票)にあげた(1)~(6)の6つの材料について、あなたは良い印象をお持ちですか、悪い印象をお持ちですか。それぞれの材料にあなたが感じる全体的な印象として、(ア)「非常に良い(好ましい)」~ (カ)「非常に悪い(好ましくない)」の中からお答えください。

【従属変数】

アンケート結果



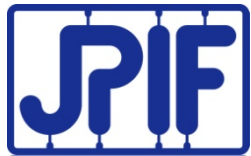
【問2】と【問3】の統計解析の具体的な関係性

【問2】で明らかにした「プラスチック」に対する印象、すなわち以下の5つの視点、「(1)身近なものだ、(2)役に立っている、(3)安全である、(4)環境にやさしい、(5)資源を有効に活用している」を独立変数とし、

【問3】で明らかとなった「プラスチック」の好感度を従属変数とした重回帰モデルを用い、①全体、②男女別、③都市規模別、④学歴別、⑤年代別、⑥職業別、⑦地域別、⑧男性年代別、⑨女性年代別での関係性の有無、および関係性の強弱について解析を実施した



全体および各属性別に特徴的な関係性が見出された
 ※詳細は6～11ページで説明



【問2】と【問3】 関係性解析結果(1/6):

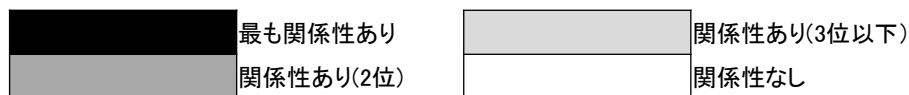
①全体、②男女別、③都市規模別、④学歴別

【問2】「プラスチックに対する印象」

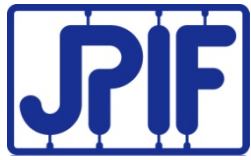
※有意確率 $\leq 5\%$,
β値参照

	身近なもの	役に立っている	安全である	環境にやさしい	資源を有効活用
全体		2		3	4
男性のみ		3	2		4
女性のみ		2		4	3
大都市		3	2		4
市			2	4	3
町村		2			
中卒					
高卒		2		4	3
大卒			3	2	4

【問3】「プラスチックの好感度」
に対して



- 全体で見ると、【問2】の「安全である」が【問3】の「プラスチックの好感度」と最も関係性が高く、続いて「役に立っている」が関係する
- 男性のみでは「環境にやさしい」、女性のみでは「安全である」に最も関係性が高い
- 都市規模別、学歴別でも異なった関係性が認められたことは興味深い
- 【問2】の「身近なもの」と【問3】の「プラスチックの好感度」には関係性が認められない



【問2】と【問3】 関係性解析結果(2/6):

⑤年代別

【問2】「プラスチックに対する印象」

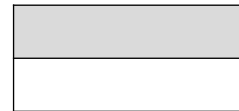
※有意確率 $\leq 5\%$,
 β 値参照

	身近なもの	役に立っている	安全である	環境にやさしい	資源を有効活用
20代					
30代				3	2
40代				2	3
50代			3	2	
60代			2		
70代					2
80代		2			

【問3】「プラスチックの好感度」
に対して



最も関係性あり
関係性あり(2位)



関係性あり(3位以下)
関係性なし

- 20代、30代、50代、60代で【問2】の「役に立っている」が、40代、70代、80代では【問2】の「安全である」が、【問3】の「プラスチックの好感度」と最も関係性が高い
- 40代(子育て世代)は安全・環境・に対して意識が高いことが影響していると推察される



【問2】と【問3】 関係性解析結果(3/6):

⑥職業別

【問2】「プラスチックに対する印象」

※有意確率 $\leq 5\%$.
 β 値参照

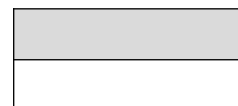
	身近なもの	役に立っている	安全である	環境にやさしい	資源を有効活用
商工サービス					
主婦			3	2	4
事務職		3		2	
労務職		2		4	3
その他・無職					2
農林漁業					
管理職・自由業					
学生					

【問3】「プラスチックの好感度」
に対して



最も関係性あり

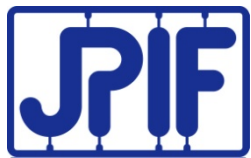
関係性あり(2位)



関係性あり(3位以下)

関係性なし

- 商工サービス、主婦で【問2】の「役に立っている」が、事務職、労務職、その他・無職では【問2】の「安全である」が、【問3】の「プラスチックの好感度」と最も関係性が高い
- 主婦、事務職で「環境にやさしい」に関しても関係性が高い
- 農林漁業、管理職・自由業、学生では特徴的な関係性は見出されなかった



【問2】と【問3】 関係性解析結果(4/6):

⑦地域別

【問2】「プラスチックに対する印象」

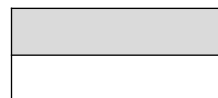
※有意確率 $\leq 5\%$,
 β 値参照

	身近なもの	役に立っている	安全である	環境にやさしい	資源を有効活用
北海道					
東北					
関東		2			
京浜		2		4	3
甲信越			2		
北陸					
東海					2
近畿					2
阪神					
中国					
四国					
九州		2			

【問3】「プラスチックの好感度」
に対して



最も関係性あり
関係性あり(2位)



関係性あり(3位以下)
関係性なし

- 東海、近畿で【問2】の「役に立っている」が、関東、京浜、北陸、四国で【問2】の「安全である」が、甲信越、九州で【問2】の「環境にやさしい」が、東北で【問2】の「資源を有効活用」が【問3】の「プラスチックの好感度」と最も関係性が高い
- 阪神の【問2】の「身近なもの」と【問3】の関係性が高いのは特異的である



【問2】と【問3】 関係性解析結果(5/6):

⑧ 男性年代別

【問2】「プラスチックに対する印象」

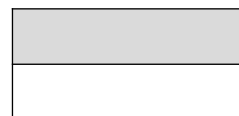
※有意確率 ≤ 5%
β 値参照

	身近なもの	役に立っている	安全である	環境にやさしい	資源を有効活用
男性20代					
男性30代					2
男性40代				2	
男性50代		2			
男性60代					
男性70代				2	
男性80代					

【問3】「プラスチックの好感度」
に対して

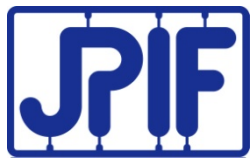


最も関係性あり
関係性あり(2位)



関係性あり(3位以下)
関係性なし

- 40代、70代、80代で【問2】の「安全である」が、30代、50代で【問2】の「環境にやさしい」が、60代で【問2】の「資源を有効活用」が【問3】の「プラスチックの好感度」と最も関係性が高い
- 全世代で「環境にやさしい」、「資源を有効活用」との関係性が高い傾向にあり、比較的マクロな視点とプラスチックの好感度を結び付けて評価する傾向が推察される



【問2】と【問3】 関係性解析結果(6/6):

⑨女性年代別

【問2】「プラスチックに対する印象」

※有意確率 $\leq 5\%$,
β値参照

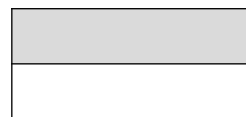
	身近なもの	役に立っている	安全である	環境にやさしい	資源を有効活用
女性20代					
女性30代					
女性40代					2
女性50代		2		3	
女性60代			2		
女性70代					
女性80代					

【問3】「プラスチックの好感度」
に対して



最も関係性あり

関係性あり(2位)



関係性あり(3位以下)

関係性なし

- 30代、40代、50代で【問2】の「安全である」が、60代で【問2】の「役に立っている」が、70代で【問2】の「資源を有効利用」が【問3】の「プラスチックに対する好感度」と最も関係性が高い
- 全世代で「安全である」、「役に立っている」で関係性が高い傾向にあり、比較的身近な視点とプラスチックの好感度を結び付けて評価する傾向が推察される



今回のまとめ

- (1) 【問2】の「安全である」、「役に立っている」は、【問3】の「プラスチックの好感度」と高い関係性が認められ、また「環境にやさしい」、「資源を有効活用している」は、【問3】の「プラスチックの好感度」と関係性が見られた。
- (2) 属性別に関係性の有無、強弱に違いがあり、より効果的な広報・啓発には、属性の特徴にあった活動が必要であると考えられる
- (3) 「安全である」のイメージは具体的に何に由来するのか、更なる深掘した調査、解析が必要と思われる

以上